




審査結果報告書

平成 27 年 2 月 2 日

主査 氏名 堤 明純 

副査 氏名 田中 浩新 

副査 氏名 生地 新 

副査 氏名 岩瀨 優美 

1. 申請者氏名 : DM11030 森 まき子

2. 論文テーマ :

A Web-Based Training Program Using Cognitive Behavioral Therapy to Alleviate Psychological Distress Among Employees: Randomized Controlled Trial.

(ウェブによる認知行動療法の手法を用いた社員教育が労働者のストレスを緩和する効果についての検討：無作為比較試験)

3. 論文審査結果 :

申請者は、無作為化比較対照デザインによって職域における認知行動療法の効果を検証し、認知再構成やストレス対処の能力向上と、抑うつ不安症状の高いグループにおける症状の低下を認めた。実際の職場で無作為化比較対照試験を実施して検証したことは評価できる。論文の完成度も高く、審査会においても明快な発表を行い、質問に対する回答も的確であった。審査員全員一致で、博士の学位に値すると判定した。以下のような点（スタディクエスチョンを含む）に留意し、さらなる研究の発展を期待したい。

- 対照（待機）群に介入を行ったあとの、長期的な効果も検討されるとよい。
- 当初から、研修後のホームワークを組み入れたプロトコルを計画されるとよい。
- 対象について、ウェブを使いこなせる集団と、そうでない集団では、当該介入効果も異なる可能性があり、検討されるとよい。同様に、治療下にあるものか、そうでないものかの検証も興味深い。
- 治療効果か、予防効果かを峻別し、研究知見を重ねられるとよい。
- 介入の実行性（implementation）を同時に評価されるとよい。